

張公何卒先代通
冥分死に任付法款
中古不注の時細く
身那通法中平難を
進法の時良のさい法通
下をうり先の年注張
以貴目死法を安す母
しとに任付と難を
法更や上年と乃戴信
而少許

一収初死の時と父は
主年月あるに有難
家法より任付法時良
物より注張少くも
親より注張意趣は
安き注張方と安き親
と通しに任付と分
注書出に主と終主
中古不注の時中注張
少く難の年と主注張
以貴目死法の時良物

思案注張の時良物
年と六年と万五上
吊より注張時と主注張
中と任付と主注張
注張の時良物

[illegible][illegible]

已入之矣所中者亦
有是又法所多如
在書家已不其然

[illegible]

一、牙口疏於大付重
舟月江即定因法而後
之字悔之不申多々
之字悔之不申多々
之字悔之不申多々

右方中一通江名表之
年限十七年斗七五五
所收印卷之大卷五五
建文三年四月廿五日

